

大阪公立大学教育学会大会

公開シンポジウム+映画「夢みる小学校」上演会

2022年12月3日(土) 13時より(開場12時30分)

学校教育の新しいかたちが具体的に動き始めています。日本でこのような新しい教育の先鞭をつけたのは、1992年創設の「きのくに子どもの村学園」でした。新大学開学後初となり、3年ぶりの対面での開催となる大阪公立大学教育学会大会は、この学園を題材とした映画「夢みる小学校」を視聴します。その後同学園で学校運営に長く尽力されてきた丸山裕子氏と西洋教育史家の山崎洋子氏を招いて、公開の形でシンポジウムを行います。映画で楽しみつつ学んでいただき、今の時代にあった学校について一緒に考えていきたいと思ひます。

映画「夢みる小学校」(まほろばスタジオ制作) 上映会 13時より

公開シンポジウム「学校教育の新しいかたち」 15時より

登壇者 丸山裕子(きのくに子どもの村学園 副学園長)

山崎洋子(武庫川女子大学)

伊井義人(大阪公立大学)

司会進行 弘田陽介、添田晴雄(大阪公立大学)

大会参加費 1000円(学部生、未成年の方は無料)

同学会員でない方もご参加できます

会場 大阪公立大学杉本キャンパス

学術情報総合センター10階大会議室

・JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」東口すぐ

・地下鉄御堂筋線「あびこ駅」徒歩約15分

事前申し込み制

お申込フォーム:

<https://forms.office.com/r/xMb2h4Mu1L>

(QRコードからも申込可)

お問い合わせ先 : 〒558-8585

大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪公立大学教育学会事務局

(担当: 島田希)

E-mail: [omuedugakkai\[at\]gmail.com](mailto:omuedugakkai@gmail.com)

[at]を@に変えてご送信ください。



映画紹介(公式HPより)

宿題がない、テストがない、

「先生」がない。

「きのくに子どもの村学園」の子どもたちは「プロジェクト」とよばれる体験学習の授業を通じて、自分たちでプロジェクトを運営し自らの頭で考えます。

「楽しくなければ、学校じゃない」と、子どもの村のスタッフは口をそろえます。キラキラした目で笑顔で学ぶ小学生の姿を見た事がありますか?

学校って、本当はこんなにわくわくする場所だったのです。学校観が180度変わる”うれしい衝撃の授業風景”をご覧ください。映画には、”自由な公立学校”も登場します。60年間成績通知表や時間割りが無い「体験型総合学習」を続ける公立小学校、伊那小学校。校則、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。実は、公立学校にもこんなに自由があったことに驚かれるでしょう。あなたの町の小学校も、「夢みる小学校」なのです。

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！

監督：オオタ ヴィン

「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

12月3日13時より大阪公立大学教育学会大会にて上映します。同学会員でない方もご視聴できます。
会場：大阪公立大学杉本キャンパス学術情報総合センター 事前申し込み制(QRコードからも申込可)

